

## 県立高校卒業生の親を対象としたオレオレ詐欺の連続発生について

概要	平成21年10月に入ってから、県立福岡工業高校卒業生の親を対象としたオレオレ詐欺が4件（被害額450万円）連続発生している。
事例	本年10月14日、福岡市内の被害者方に、被害者の息子を名乗る男から「風邪を引いたみたいだ。」「携帯電話がトイレに落ちて壊れ、電話番号がかわったので新しい番号を登録してくれ。」などという電話があり、さらに翌15日「友達の借金の保証人になった。その友達が所在不明になり、借金の肩代わりをしなければならない。今日までに150万円が必要なので振り込んでくれないか。お母さんから断られたらサラ金から借りるしかない。」などと言われ、息子からの電話と信じた被害者が、福岡市内の銀行から男の指定した口座に150万円を振り込んだもの。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最初から電話口で息子の名前をかたり、被害者を信用させる。</li> <li>※ 犯人は名簿等を見ているので名前や勤務先を知っている。</li> <li>○ 「風邪を引いている。」「携帯電話番号がかわった。」などと言う。</li> <li>○ 「友達の連帯保証人になっていたが、その友達が所在不明になり、返済を迫られている。」などと言う。</li> </ul>
類似事件	卒業生名簿を利用したと思われるオレオレ詐欺事件については、6月中に県立小倉高校卒業生の親を対象としたものが6件（被害総額100万円）、7月中に県立福岡中央高校の親を対象としたものが8件（被害総額200万円）発生したほか、同類事件と思われる被害が2件発生している。
対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「風邪をひいている」「携帯電話番号が変わった」と言われたら詐欺と疑うこと。</li> <li>※ 「風邪をひいた」は、息子の声と違うことに気づかれてもだまし通せるように、あらかじめ風邪だと嘘をつく。</li> <li>※ 「携帯電話番号が変わった」は、犯人の携帯電話番号を登録させるため、これを登録すると、犯人からの電話が「息子の名前」で表示されるとともに、息子の本当の電話番号は消去されてしまう。</li> <li>○ 「自分は絶対にだまされない。大丈夫だ。」という考えを持たない。</li> <li>※ 窮地に追い込まれた息子を助けたいという気持ちが高まって、被害者は冷静な判断ができなくなる。</li> <li>○ 振り込む前に必ず家族や知人、警察に相談すること。</li> <li>※ 電話で「お金を振り込んで」「お金を送ってくれ」などと言われたら、振り込む前に、まず相談をすること。</li> </ul>